

令和2年3月30日

マスコミ関係 各位

西条市大保木連合自治会長 神野 顕 彰  
全 副会長 桑名 義 邦  
各単一 自治会長一同  
全 事務局 大保木公民館

大保木連合自治会制作 **伊豫西條市 靈峰石鎚山麓「大保木」**

(思い出の学び舎・文化継承と旧跡を辿る) 発行にあたり

謹啓 春光天地に満ちて快い時候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。又、世界を震撼しております新型コロナウイルスにご労苦のことと拝察いたします。人類の危機とも言える先行き不明の展開に日々悩ましい状況かと存じますが、どうか1日も早い収束を祈るばかりです。

さて、大保木地域は靈峰石鎚山麓辺境の地にあつて、大自然の営みと共に暮らしてきた住民の苦楽とその生活は、悠久の歴史を刻み今日を迎えました。封建時代の銀納義民事件そして、文明開化以来近代化する中にあつて当地域の先人たちは世の為、人の為を心静かに育みながら相和し団結、教育や独自の文化を形成してきたことは、私共の誇りとするものでもあります。

しかし、第二次大戦の敗戦後、我が国の飛躍的高度経済成長と共に、当地の基幹産業であった林業は外材の輸入等の社会変容と共に衰退の一途をたどり、人口減少過疎化、限界集落化・・・と、まさに「村じまい」という言葉が創出される現状にあります。

私共、大保木連合自治会は未来社会のより不透明な変換期にあつて、当地域の記録と整理という目線をもって副題の「思い出の学び舎・文化継承と旧跡を辿る」を基に次世代に継承保存するための、**伊豫西条 靈峰石鎚山麓「大保木」**と題して、市内映像業者のご尽力のもと一枚のDVDに収録、映像化。この度発行する運びとなりました。

今後、当地域住民はもとより、地域出身者や広く市内外の皆様にご鑑賞いただき、次世代への継承保存はもとより、人が生きるということ問われる現下のIT変革時代にあつて些かでも資することができれば無上の喜びとするものがあります。どうか私共の趣意をご賢察賜り、何分のご支援ご協力のほどを衷心よりお願い申し上げます。

謹白